

教育委員会事務の点検・評価
(平成 24 年度分報告書)

野々市市教育委員会

目 次

<u>1</u>	<u>教育委員会事務の点検・評価について</u>	2
	(1) 趣旨.....	2
	(2) 対象年度.....	2
	(3) 実施方法.....	2
<u>2</u>	<u>教育委員会会議及び活動状況</u>	4
	(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項.....	4
	(2) 教育委員会活動の概要.....	5
	(3) 自己評価.....	6
	(4) 学識経験者からの意見.....	7
	(5) 今後の方針.....	7
<u>3</u>	<u>事務事業所管課別点検評価</u>	8
	(1-1) 教育総務課所管事業.....	8
	(1-2) 学識経験者からの意見.....	25
	(1-3) 今後の方針.....	25
	(2-1) 学校教育課所管事業.....	26
	(2-2) 学識経験者からの意見.....	46
	(2-3) 今後の方針.....	46
	(3-1) 生涯学習課所管事業.....	47
	(3-2) 学識経験者からの意見.....	68
	(3-3) 今後の方針.....	68
	(4-1) 文化振興課所管事業.....	69
	(4-2) 学識経験者からの意見.....	86
	(4-3) 今後の方針.....	86
	(5-1) スポーツ振興課所管事業.....	87
	(5-2) 学識経験者からの意見.....	96
	(5-3) 今後の方針.....	96
<u>4</u>	<u>参考資料</u>	97
	(1) 野々市市教育委員会組織.....	97

1 教育委員会事務の点検・評価について

(1) 趣旨

野々市市教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たし、住民から信頼される教育行政のさらなる推進を目指して、平成 24 年度分についての教育行政事務の点検・評価を実施しました。

これらについての成果や課題を確認することで、今後の施策改善に反映させるとともに、具体的なそして効果的な教育行政の一層の推進を図ることとします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

(2) 対象年度

平成 24 年度に実施した教育委員会主管の主要な事務事業を点検・評価の対象とします。

(3) 実施方法

① 教育委員が直接に関与し、また活動している事項と教育長に委任する事務に区分整理し、点検・評価を行いました。

② 教育長に委任する事務については、教育委員会事務局各課の主要事務事業を、79 項目の評価シートに抽出分類し、自己点検、自己評価を行いました。

自己評価については、評価シート毎に次のとおり 6 段階評価を行いました。

なお、今回より市行政評価との整合性を図るため、評価シートの様式を改めました。

【評価基準（6段階評価）】

評価	内 容
A	拡大・重点化
B	改善
C	継続
D	縮小
E	廃止・統合予定
F	終了・完了

【今後の展開】

評価	内 容
↗	事業規模の拡大
→	事業規模の維持
↘	事業規模の縮小
×	当該年度には実施していない

③ 上記により取りまとめた評価シートを「教育総務課」、「学校教育課」、「生涯学習課」、「文化振興課」、「スポーツ振興課」という5つの課の事業に分類し、項目毎に客観的視点を確保するため、学識経験を有し、本市の教育行政にご理解のある次の方々に依頼し、ご意見をいただきました。

また、このご意見や点検・評価に基づいた今後に向けた改善・改革すべき事項を「今後の方針」として取りまとめ項目毎に記載しました。

(50音順・敬称略)

氏 名	公 職 等
岡田 實	元小学校校長 民生委員・児童委員
笠間 悟	野々市公民館長
長谷川 芳彦	野々市市スポーツ推進委員協議会会長

2 教育委員会会議及び活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項

野々市市教育委員会は、「野々市市教育委員会会議規則」第3条の規定に基づき、以下のように12回の定例会及び3回の臨時会を開催しました。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に規定される職務権限及び「野々市市教育委員会教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、以下のように審議しました。

教育委員会 会議開催日	定例会又 は臨時会 の別	議案番号	件名	報告 事項 件数
4月9日	臨時会	第18号議案	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度教育委員会関係委員の委嘱）	2件
4月26日	定例会	第19号議案 第20号議案	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度教育委員会関係委員の委嘱） 専決処分の承認を求めることについて（野々市市押野公民館長の任命）	9件
5月23日	定例会	第21号議案	平成23年度野々市市一般会計補正予算（3月30日付け専決処分）教育費関係について	6件
6月29日	定例会	第22号議案	野々市市体育施設管理規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則	8件
7月26日	定例会		※報告案件のみ	8件
8月9日	臨時会		※報告案件のみ	1件
8月28日	定例会	第23号議案 第24号議案 第25号議案 第26号議案 第27号議案	平成24年度野々市市一般会計補正予算（9月補正）教育費関係について （仮称）野々市市小学校給食センター施設整備・運営事業事業契約の締結について 野々市市教育センター条例の一部を改正する条例について 野々市市教育センター条例施行規則の一部を改正する規則について 平成24年度野々市市教育委員会表彰被表彰者選考について	11件

9月27日	定例会		※報告案件のみ	11件
10月1日	臨時会	第28号議案 第29号議案 第30号議案	野々市市教育委員会委員長選挙について 野々市市教育委員会委員長職務代理者の指定について 野々市市教育委員会教育長の選出について	0件
10月31日	定例会		※報告案件のみ	7件
11月28日	定例会	第31号議案	平成24年度野々市市一般会計補正予算(12月補正)教育費関係について	5件
12月25日	定例会		※報告案件のみ	2件
1月29日	定例会		※報告案件のみ	5件
2月27日	定例会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案	平成24年度野々市市一般会計補正予算(3月補正)(案)教育費関係について 平成25年度野々市市一般会計予算(案)教育関係について 野々市市体育施設管理規則の一部を改正する規則(案)について 野々市市スポーツ推進審議会に関する条例の一部を改正する条例(案)について	8件
3月26日	定例会	第5号議案 第6号議案	平成25年度教育目標について 平成25年4月1日付け職員異動内示について	5件

(2) 教育委員会活動の概要

教育委員は、教育委員会議への出席の他、市議会や学校訪問、各種行事等に合計165回出席しました。

① 市議会関係 33回

- ・本会議、教育文化常任委員会等への出席

② 学校訪問、学校行事 31回

- ・入学式、卒業式、学校計画訪問、学校公開、運動会等への出席

③ 会議、研修会 45回

- ・県市町教育委員会連合会等教育委員長・教育長会議等への出席

④ 各種行事 56回

- ・成人式、立志式、地区運動会等への出席

(3) 自己評価

教育委員会は独立した教育行政の執行機関との認識の中、委員それぞれの目線から現状の課題や問題、また、推進すべき事項等を委員会会議で慎重に審議しました。

委員会会議については定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催し、主要案件等適切に事案を処理できたと思います。また、報告事項については、口頭のみでなく、文書等を用い時間の短縮を図り、審議事項の時間を多くとるように努めました。

教育委員会会議の状況については、市のホームページにその都度掲載し、委員会活動についての広報に努め、開かれた教育委員会に取り組んでおります。

学校教育においては、継続して全小中学校長との個別懇談を実施し学校の運営方針や学校が抱える問題等について意見交換を行いました。

また、積極的に学校訪問を行い児童生徒を見守るとともに、授業参観や現場の教員との話しの中で各クラスの状況等を聞き、さらに管理職や主幹教諭・指導教諭等と懇談を行い児童生徒に対する教育的課題や教師の教育指導方法などについての提言等を行い学校経営の向上をめざしました。

社会教育においては、顔の見える教育委員会として地区公民館の行事や教育委員会主催の講演会・スポーツ大会等に積極的に出席し、地域の状況や市民が求めているものの把握に努め、検討事項等を事務局へ提言しました。

また、市制が施行されて1年が過ぎ、町から市に変わったことによる会議や事業の変更等、市としての重みを感じる1年でありましたが、市民が市教育行政に求めているものの理解に努め、事務事業に反映させていきたいと考えております。

今後も、今まで培ってきたものを基礎として教育委員自らの自己研鑽を進めるとともに、高い教育効果を上げるべく諸課題に取り組んでいきたいと思っております。

(4) 学識経験者からの意見

市議会や学校訪問、各種行事に多数参加され、市の現況や問題点を掌握し、教育委員会会議にて慎重に審議を推し進められたことと思います。

今後も、子どもたちを取り巻く社会環境が目まぐるしく変化する中、学校・地域・家庭が連携して「智・徳・体」のバランスがとれた児童生徒の育成ができるよう、更なる教育行政の推進をお願いするものです。

文化・スポーツ等の生涯学習においては、市民が求めているものを的確に把握し、事務事業を進めていただきたいと思います。

また、市ホームページにその都度、教育委員会会議の内容を公表され、開かれた教育委員会が見えてきていますので、今後も市民に情報を幅広く公開していただきたいと思います。

教育行政全般として、児童生徒の保護者からの教育相談や市民からの各種問合せ等について、的確に対応できるよう相談体制の充実に努めてください。

(5) 今後の方針

地域や学校現場に継続して足を運び、地域の様子や児童生徒の様子を把握するとともに、課題や改善点については関係機関が一体となって対応していきます。

特に児童生徒の生活面については、個々の小さな問題が、全体の大きな問題となる危険性があるため、細心の注意を持って取り組んでいきます。

生涯学習については、各種事業が市民ニーズに応えたものとなるよう展開していきます。

また、教育委員会会議の概要について今後も迅速に市ホームページに掲載し、教育委員会活動について市民の皆様の理解を得るよう努めていきます。

教育相談については、職員の更なる研修を図るとともに関係機関とも連携し、適切な指導・助言に努めていきます。

3 事務事業所管課別点検評価

・(1-1) 教育総務課所管事業

1. 教育委員会組織運営事業
2. 教育委員会表彰事業
3. 一般事務
4. 小学校管理事業（各小学校執行分）
5. 野々市小学校整備事業
6. 事務局小学校管理費（教育総務課分）
7. 就学援助費（小中学校）
8. 特別支援教育就学奨励費（小中学校）
9. 富陽小学校増築・大規模改造事業
10. （仮称）野々市市小学校給食センター施設整備運営事業
11. 給食センター運営事業（小学校）
12. 中学校管理事業（各中学校執行分）
13. 事務局中学校管理費（教育総務課分）
14. 給食センター運営事業（中学校）
15. 野々市中学校地震補強・大規模改造事業
16. 布水中学校大規模改造事業

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4101	事務又は事業の名称	教育委員会組織運営事業			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
事業の概要	総合計画 該当施策	8 住み続けたい！をみんなの声でつくるまち【行財政運営】 3 安定した行財政運営の推進 4 教育委員会施策の推進と評価			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1)「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市教育委員6名(教育長を含む)に		事業の目的	教育委員会の職務の遂行をするため			
	事業の内容	教育委員の職務に対する報酬(非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例に規定されたもの)及び旅費。		平成24年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・公民館やスポーツ等の地域活動への参加 			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	教育委員会の開催	回	14	16	15	15	
		学校訪問	回	24	21	31	30	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	2,625		2,244		2,796	
事業費計 (A) (千円)	2,625		2,244		2,796			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・地域活動への参加 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・地域活動への参加 ・先進地視察 他 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・地域活動への参加 他

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められており、適正に委員会の運営が行われている。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		会議資料の事前配布等継続して教育委員会の効率的運営を図った。また、会議時の報告事項についても口頭報告と合わせて、資料配布により目に見える形とし時間の短縮に努め、審議時間の拡大を図る。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4102	事務又は事業の名称	教育委員会表彰事業			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課		
事業の概要	総合計画該当施策	0 該当なし			区分	自治事務 ソフト事業 単独事業			
	教育振興基本計画施策名								
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
				終了予定	**	年度			
実施根拠となる分野別計画	該当なし	根拠法令	該当なし						
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市教育委員会が教育、文化、スポーツ及び青少年の健全育成において、顕著な功績や振興があったと認められる個人又は団体に		事業の目的	本市の教育の振興及び発展に資することを目的とする。					
事業の内容	毎年1回、文化の日に表彰を実施。		平成24年度活動実績	表彰式 ・教育功労表彰 1名 ・教育振興表彰 15名(個人14名 1団体)					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	表彰式	回	1	1	1	1		
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	326	252	375				
事業費計 (A) (千円)	326	252	375						

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画(今後3箇年の活動内容)	・文化の日に表彰を実施	・文化の日に表彰を実施	・文化の日に表彰を実施	・文化の日に表彰を実施

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	本市の教育・文化・スポーツの振興及び青少年の健全育成に寄与。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	市表彰と同一の日に表彰を行うことから、市表彰候補となるか教育委員会表彰候補となるか被表彰候補者の把握作業を早期に進める。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4103	事務又は事業の名称	一般事務			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
事業の概要	総合計画 該当施策	2 生涯健康 心のかよう福祉のまち【福祉・保健・医療】 4 子育て支援の推進		重点プロジェクトⅢ 関連施策	区分	自治事務		
		1 子どもを産み育てやすい環境づくり				ソフト事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実		補助事業				
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
				終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律 幼稚園就園奨励費補助金交付要綱					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内から私立幼稚園に通園する園児の保護者(幼稚園就園奨励費補助金)に		事業の目的	保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、公・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図る。(幼稚園就園奨励費補助金)				
事業の内容	当該年度の市町村民税課税状況や世帯構成に応じて、減免した保育料を私立幼稚園を通じて各保護者に補助する。(幼稚園就園奨励費補助金)		平成24年度 活動実績	19法人24園の私立幼稚園、対象人数436人に対し保育料、入園料の一部を補助した。 事業費総計 40,134,300円 事業費総計の1/3 13,378,100円 国庫補助金 9,690,000円(圧縮率 72.43%)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	補助人数	人		442	436	430	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)	9,649		9,690		8,883	
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	34,728		36,449		35,456	
事業費計 (A) (千円)	44,377		46,139		44,339			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・在園数調査 ・要綱改正(国の補助要綱の改正によるもの) ・算定・当初交付申請・交付決定通知・変更交付決定・額の確定 ・実績報告	・在園数調査 ・要綱改正(国の補助要綱の改正によるもの) ・算定・当初交付申請・交付決定通知・変更交付決定・額の確定 ・実績報告	・在園数調査 ・要綱改正(国の補助要綱の改正によるもの) ・算定・当初交付申請・交付決定通知・変更交付決定・額の確定 ・実績報告

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	国が基準額の引き上げや基準を拡大しており、また近隣の市町においても同様の補助を継続して行っており、今後も維持が必要。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		国の基準の変更に伴い、平成25年度から子ども的人数により対象世帯ごとに補助基準額を変動させる方式を用いることになった。それによって、算定方法が複雑になることから、保護者への制度説明をする際には内容を的確に伝えることができるよう工夫する必要がある。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4105～4109	事務又は事業の名称	小学校管理事業(各小学校執行分)			所管	部	教育文化部		
						課	教育総務課			
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	内部管理事務 ソフト事業 単独事業			
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実								
	行政改革推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
						終了予定	**	年度		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法						
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市立小学校5校に		事業の目的	小学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。消耗品等の配備。						
事業の内容	学校施設を維持管理、運営するための需用費の支払等。		平成24年度活動実績	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込			
	成果指標	数値指標の設定になじまない								
事業のコスト	事業費	区分	H23		H24		H25予算			
		国庫支出金 (千円)								
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	23,282	22,498		21,610				
		事業費計 (A) (千円)	23,282	22,498		21,610				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	学校校務員等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	学校の管理運営上必要な業務であり、今後も維持継続が必要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		適切な学校運営の為に必要な学校管理、物品の配備等を行う。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4110	事務又は事業の名称	野々市小学校整備事業			所管	部	教育文化部	
						課		教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり					区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実						ハード・ソフト事業	
	行政改革推進項目	18 事務事業の外部委託の推進						補助事業	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法				事業の開始・終了年度	
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が野々市小学校施設・児童に		事業の目的	老朽化した野々市小学校の改築をPFI手法で行い、民間事業者の技術や創意工夫を最大限活用することにより児童に対し充実した学校環境を提供し、また財政負担の軽減を図る。				
	事業の内容	PFI手法により老朽化した野々市小学校の改築及びその後の15年間の維持管理も含めた業務を実施するもの。		平成24年度活動実績	・小学校の維持管理業務の実施(月1回の定例維持管理会議の開催) ・維持管理業務費、施設整備費(割賦払い分)の支出 ・校舎及び屋内運動場の完成後2年点検の実施				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	野々市小学校8棟の耐震化率	%	100	100	100	100		
		VFM(Value For Money)	%	13.0	14.6	14.6	14.6		
事業のコスト	区分		H23		H24		H25予算		
	事業内訳	国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)		76,117		76,215		76,457	
	事業費計 (A) (千円)		76,117		76,215		76,457		

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	事業契約に基づく維持管理業務の実施	事業契約に基づく維持管理業務の実施	事業契約に基づく維持管理業務の実施

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	H20.8.26締結の事業契約に基づき事業を継続するため
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		事業契約に基づき引き続き事業を実施する。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4111	事務又は事業の名称	事務局小学校管理費(教育総務課分)			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】					区分	自治事務	
	2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり						ハード・ソフト事業	
教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進					補助事業		
	基本的施策(4) 教育環境の充実							
行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度
事業の概要	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市立小学校施設、在籍児童、給食調理員に		事業の目的	小学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。小学校の備品、消耗品の配備。安定的な給食提供の為の調理員の確保。			
	事業の内容	小学校施設の修繕、改修工事、光熱水費等の支払。学校備品の配備。水質検査。室内空気環境測定。浄化槽検査。給食設備の点検・清掃。ボイラー施設の整備、検査。害虫・鳥獣の駆除。電気設備・消防設備・プール設備・エレベータの保守。施設用地の借上。		平成24年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査 給食設備の点検清掃 ボイラー施設の整備、点検検査 電気・消防・プール設備・エレベータの保守 給食調理員の雇用他 			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	学校施設修繕・改修工事件数	件		30	45	35	
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)	3,307				2,692	
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)					5,300	
		その他 (千円)	1,055					
		一般財源 (千円)	142,479		124,109		128,184	
		事業費計 (A) (千円)	146,841		124,109		136,176	

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査・給食設備の点検清掃 ボイラー施設の整備、点検検査 電気・消防・プール設備・エレベータの保守 給食調理員の雇用他 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査・給食設備の点検清掃 ボイラー施設の整備、点検検査 電気・消防・プール設備・エレベータの保守 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査・給食設備の点検清掃 ボイラー施設の整備、点検検査 電気・消防・プール設備・エレベータの保守

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	平成26年度中頃から小学校給食センターの供用がPFI事業により開始される予定であり、それに伴い給食調理員の市雇用経費がなくなるが、経年劣化による修繕や備品の更新が見込まれる。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		継続して効率的な業務の実施に努める。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4112・4120	事務又は事業の名称	就学援助費(小中学校)			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実 1 確かな学力をはぐくむ教育の推進				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1)「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校教育法第19条				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が①生活保護法に規定する要保護者②要保護者に準ずる程度に困窮している保護者(準要保護者)に		事業の目的	経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るため。			
	事業の内容	援助項目:学用品費、通学用品費(1年生除く)、新入学用品費(新1年生のみ)、校外活動費、修学旅行費、学校給食費。		平成24年度 活動実績	支給対象保護者への給付。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	支給決定児童生徒数	人		578	580	582	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)			29			
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	42,209		44,374	42,000		
事業費計 (A) (千円)	42,209		44,403	42,000				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	経済的理由による格差の是正を図るため。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		制度の周知徹底を進め、児童生徒の円滑な就学を図る。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4113・4121	事務又は事業の名称	特別支援教育就学奨励費(小中学校)			所管	部	教育文化部		
						課		教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実 1 確かな学力をはぐくむ教育の推進				区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1)「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
						事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし							
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に		事業の目的	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため。						
事業の内容	援助品目:学用品費、通学用品費(1年生除く)、新入学用品費(新1年生のみ)、校外活動費、修学旅行費(中学校)、学校給食費。		平成24年度 活動実績	支給対象保護者への給付。						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込			
	成果指標	支給決定児童生徒数	人		25	21	21			
事業のコスト	事業内 費	区分	H23		H24		H25予算			
		国庫支出金 (千円)	310		243		288			
		県支出金 (千円)								
		地方債 (千円)								
		その他 (千円)								
		一般財源 (千円)	1,526		1,184		1,388			
		事業費計 (A) (千円)	1,836		1,427		1,676			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	経済的理由による格差の是正を図るため。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者への制度案内を個別に通知し、制度の周知徹底を進め児童生徒の円滑な就学を図る。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4114	事務又は事業の名称	富陽小学校増築・大規模改造事業			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ハード事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法		事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が富陽小学校施設・児童に		事業の目的	児童数増加に対する学校施設の確保及び、経年により通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置に伴う大規模改造を行う。			
事業の内容	校区での児童数増加により、平成24年度において教室数の不足が見込まれたため、増築と大規模改造を併せて実施する。 平成22年度 実施設計 平成23年度～平成24年度 増築・大規模改造工事		平成24年度 活動実績	・増加児童数に対する学校施設の増築工事の実施完了 ・大規模改造工事の実施完了				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	学校施設の面積	m ²	10,517	9,154	10,517	—	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)	111,226		249,989			
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)	261,600		278,800			
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	84,526		155,632			
事業費計 (A) (千円)	457,352		684,421		0			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開			
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)			

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	工事の完了
	C	F			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		平成24年度事業完了		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4115	事務又は事業の名称	(仮称)野々市市小学校給食センター施設整備運営事業				所管	部	教育文化部
						課		教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ハード・ソフト事業 補助事業		
	行政改革推進項目	17 学校給食のセンター化				事業の開始・終了年度			
						事業開始	平成22	年度	
						終了予定	平成41	年度	
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校給食法						
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が児童に		事業の目的	各小学校給食施設の老朽化と新しい衛生管理基準への対応のため、小学校給食調理場の一元化を行う。また、PFI手法により民間の資金、経営能力の活用を図り、良好な施設整備や事業コストの削減を図る。					
事業の内容	小学校の給食センターの建設及び既存給食センターを含めた給食提供の運営及び施設の維持管理の業務をPFI手法により一体的に事業契約を行い実施するもの。		平成24年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・PFIアドバイザー業務及びモニタリング業務契約締結 ・事業者選定委員会の開催 ・PFI事業の事業実施者決定と公表、事業契約締結 ・新給食センター基本設計業務完了 					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	新給食センター施設整備延床面積	m ²	1,850	該当なし	該当なし	該当なし		
		VFM(Value For Money)		0.2	0.2	6.5	6.5		
事業のコスト	事業費	区分	H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	14,320		9,068		12,810		
事業費計 (A) (千円)	14,320		9,068		12,810				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・新給食センター建設完了 ・新給食センター運営・維持管理開始(H26の2学期より) ・既存給食センター運営・維持管理実施 ・各小学校改修完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存給食センター、新給食センター運営・維持管理業務実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存給食センター、新給食センター運営・維持管理業務実施

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	理由	H24.9.25締結の事業契約に基づき事業を実施するため。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		事業契約に基づき、児童生徒へ安全で安心な学校給食を提供していく。	

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4116	事務又は事業の名称	給食センター運営事業(小学校)			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	内部管理事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校給食法第9条、学校給食衛生管理基準				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が野々市小学校在籍児童に		事業の目的	野々市小学校への栄養豊富で衛生的な給食の提供。 野々市小学校への給食提供のための消耗品、備品の 配備。			
	事業の内容	1日約600食の給食提供。		平成24年度 活動実績	給食調理に係る消耗品の購入。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	区分		H23		H24		H25予算	
	事業内訳 財源内訳	国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	950	712	700			
事業費計 (A) (千円)	950	712	700					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	栄養管理並びに衛生管理の徹底された給食を提供する。	栄養管理並びに衛生管理の徹底された給食を提供する。	栄養管理並びに衛生管理の徹底された給食を提供する。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	安全・安心の学校給食を提供するうえで必要な業務であり、また、児童の心身の健全な発達に資するため継続するものである。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		消耗品・備品の計画的な購入。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4117-4118	事務又は事業の名称	中学校管理事業(各中学校執行分)			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	内部管理事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実						
	行政改革推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市立中学校2校に		事業の目的	中学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。消耗品等の配備。				
事業の内容	学校施設を維持管理、運営するための需用費などの支払等。		平成24年度活動実績	学校校務員、司書等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	事業費	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	10,636		10,457		9,432	
		事業費計 (A) (千円)	10,636		10,457		9,432	

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	学校校務員等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(A重油、灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。	学校校務員等の旅費支払。学校施設の小修繕。光熱水費(LPガス)、燃料費(灯油)の支払。給食消耗品、清掃、保健消耗、医薬品の配備。その他一般管理。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	学校の管理運営上必要な業務であり、今後も維持継続が必要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		適切な学校運営の為に必要な学校管理、物品の配備等を行う。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4119	事務又は事業の名称	事務局中学校管理費(教育総務課分)			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実				ハード・ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし				単独事業		
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法				
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市立中学校施設・生徒に		事業の目的	中学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。中学校の備品、消耗品の配備。			
	事業の内容	中学校施設の修繕、改修工事、光熱水費等の支払。学校備品の配備。水質検査。室内空気環境測定。浄化槽検査。ボイラー施設の整備、検査。害虫・鳥獣の駆除。電気設備・消防設備・プール設備・エレベータの保守。施設用地の借上。		平成24年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査 ボイラー施設の整備、点検検査 電気・消防・プール設備・エレベータの保守 その他管理事務 			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	学校施設修繕・改修工事件数	件		8	22	15	
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)					2,692	
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)					5,300	
		その他 (千円)	473					
		一般財源 (千円)	32,783		35,496		42,938	
事業費計 (A) (千円)	33,256		35,496		50,930			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画(今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査 ボイラー施設の整備、点検検査 電気・消防・プール設備・エレベータの保守 その他管理事務 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査 ボイラー施設の整備、点検検査 電気・消防・プール設備・エレベータの保守 その他管理事務 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査 ボイラー施設の整備、点検検査 電気・消防・プール設備・エレベータの保守 その他管理事務 	

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	学校の健全な維持管理上必要な業務。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	継続して効率的な業務の実施に努める。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4122	事務又は事業の名称	給食センター運営事業(中学校)			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ソフト事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし					単独事業	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校給食法第9条、学校給食衛生管理基準				
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が野々市中学校、布水中学校在籍生徒、給食センター施設に		事業の目的	市内中学校生徒への栄養豊富で衛生的な給食の提供。施設の運営、管理。給食提供のための消耗品、備品の配備。			
事業の内容	学校給食衛生管理基準のもと衛生管理の徹底に努め食中毒を防止し、1日約1,300食の給食を提供する。		平成24年度活動実績	給食の調理及び提供 給食センター施設の修繕・改修工事 貯水槽清掃。給食設備の点検・清掃 職員及び施設の細菌検査 電気設備・消防設備・エレベータの保守 その他水質検査等一般管理				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	75,363	76,563	81,685			
事業費計 (A) (千円)	75,363	76,563	81,685					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画(今後3箇年の活動内容)	燃料費、光熱水費等を除き維持管理・運営業務はPFI事業による事業契約により事業者が実施。(H26～PFI事業による維持管理費・運営費については、小学校給食センター施設整備・運営事業にて計上)	燃料費、光熱水費等を除き維持管理・運営業務はPFI事業による事業契約により事業者が実施。(H26～PFI事業による維持管理費・運営費については、小学校給食センター施設整備・運営事業にて計上)	燃料費、光熱水費等を除き維持管理・運営業務はPFI事業による事業契約により事業者が実施。(H26～PFI事業による維持管理費・運営費については、小学校給食センター施設整備・運営事業にて計上)	燃料費、光熱水費等を除き維持管理・運営業務はPFI事業による事業契約により事業者が実施。(H26～PFI事業による維持管理費・運営費については、小学校給食センター施設整備・運営事業にて計上)

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	安全・安心の学校給食を提供するうえで必要な業務であり、また、生徒の心身の健全な発達に資するため継続するものである。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		修繕や改修工事については、緊急性や重要性の高いものから実施する。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4123	事務又は事業の名称	野々市中学校地震補強・大規模改造事業			所管	部	教育文化部
						課		教育総務課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ハード事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし					補助事業	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法				
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が野々市中学校施設・生徒に		事業の目的	教育環境の改善を図る。学校の主要構造部の耐震化と生徒数増加に対する必要教室数の確保を一体的に実施する。			
	事業の内容	生徒数増加に対する学校施設の確保及び、教育環境の改善のため、教室等に空調設備を設置、障害者対策としてエレベーター、多目的トイレの整備を実施するもの。 平成24～25年度 設計・工事(空調、障害者対策)		平成24年度活動実績	・空調及び障害者対策工事の実施設業務委託 ・障害者対策工事契約締結			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)					30,851	
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)					57,300	
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)			4,095		1,228	
事業費計 (A) (千円)	0		4,095		89,379			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	×
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	技術室棟建替え増築工事实施設設計 技術室棟建替え増築工事 工事監理	技術室棟建替え増築工事 工事監理	

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	教育環境の改善を図り、生徒増加に対する必要教室数の確保と学校施設の耐震化を平成27年度までに完了するため学校管理運営上必要な業務であり、維持継続が必要である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	障害者対策工事は契約に基づき平成25年度中に工事を実施する。空調設置工事及び防火シャッター改修工事は平成25年度中に契約のうえ、工事を実施する。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4124	事務又は事業の名称	布水中学校大規模改造事業			所管	部	教育文化部
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ハード事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし					補助事業	
	事業の開始・終了年度					事業開始	平成24 年度	
						終了予定	平成27 年度	
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	教育基本法 学校教育法					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が布水中学校施設・生徒に		事業の目的	生徒数増加に対する学校施設の確保及び、経年により通常発生する建物の損耗、機能低下に対する復旧措置に伴う大規模改造を行う。				
事業の内容	生徒数増加に対する学校施設の確保及び、教育環境の改善のため、教室等に空調設備を設置、障害者対策としてエレベーター、多目的トイレの整備を実施するもの。 平成24年度 実施設計 平成24～26年度 増築・大規模改造工事		平成24年度活動実績	・実施設計業務委託 ・工事契約締結				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	数値指標の設定になじまない						
事業のコスト	事業内訳	区分	H23	H24	H25予算			
		国庫支出金 (千円)			118,044			
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)			270,400			
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)		22,470	45,892			
事業費計 (A) (千円)	0	22,470	434,336					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	×	×
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	大規模改造工事 工事監理		

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	教育環境の改善を図り、生徒増加に対する必要教室数を確保するため学校管理運営上必要な業務であり、維持継続が必要である。
		C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	平成24年度中に工事契約済であり、大規模改造、校舎増築、障害者対策、空調設置等の工事を進め、平成26年度完成を予定している。			

・(1-2) 学識経験者からの意見

児童生徒数の増加に対応した適切な教育環境の整備や空調設備の設置も順調に進められているようで、評価できます。さらには、障害のある児童生徒に配慮した教材・教具などの備品や設備等の充実を望みます。

野々市小学校や給食センターにPFI手法による民間のノウハウを導入し、効率化が図られているようですが、直接、児童生徒に関わることなので、保全・管理について、適正に運営されているか直接点検をされることを望みます。

学校施設の耐震性等が確保され教育環境が整っている中で、施設の市民開放や学校行事等の利用を考慮し、駐車場の拡張や整備等の利用環境作りを積極的に考えてもらえないでしょうか。

学校給食について、地元農家との連携などによる地産地消や栄養教諭や地元生産者などの協力による食育のより一層の推進を望みます。

教育委員会表彰について、表彰を受けた方は励みとなりますので、各分野で貢献された方々、団体に積極的に授与されてはどうかと思います。

・(1-3) 今後の方針

- ① 障害のある児童生徒に配慮した教材・教具などの備品や設備等については、児童生徒が分け隔てなく学習できる環境の整備に努めていきます。
- ② PFIによる野々市小学校や給食センターの運営については、直接、児童生徒に関わることなので、適正な保全・管理に努めていきます。
- ③ 駐車場の拡張や整備等については、施設の利用状況の把握、周辺の土地利用状況を検証し、今後、施設利用環境の整備について検討していきます。
- ④ 学校給食の地産地消については、地元農家の取りまとめであるJA野々市と連携を深め、一層の推進を図るとともに、児童生徒に対する食育についても栄養教諭や地元生産者等の協力を得て進めるよう努めていきます。
- ⑤ 教育委員会表彰については、表彰基準に基づき表彰しており、被表彰漏れがないよう学校や関係団体等緊密に連絡調整を図っていきます。